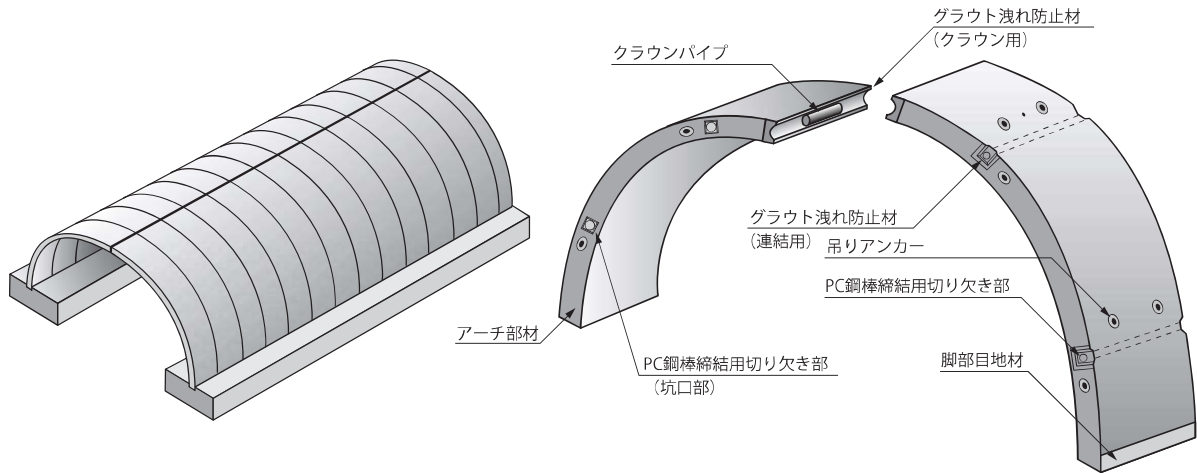


# テクスパン工法

## 特長

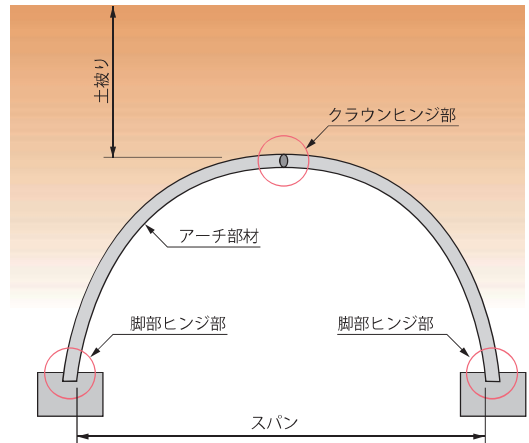
- テクスパン工法は、アーチ（フニクラール・カーブ）構造を3ヒンジで構築する工法です。
- アーチ部材は、左右交互に1台のクレーンで簡単に設置できます。また、支保工は必要とせず、熟練工も不要です。
- ウイング及び頂部壁は、テールアルメ工法により施工されますので美しいデザインとなります。



## 構造

### 《3ヒンジ》

■ 3ヒンジとは、部材結合方法の一種であり、部材応力（垂直力、水平力）のみ伝達し、モーメントは伝達しない構造です。テクスパンアーチは基礎部に2ヶ所、クラウン部に1ヶ所ヒンジを持つ3ヒンジアーチです。3ヒンジアーチは固定アーチ、2ヒンジアーチ等と比較して一般に部材断面を小さくすることができます。また、静定構造となるため、設計計算による応力と実応用の差が少ないなどの利点があります。



スパン	土被り
7m ~ 20m	1m ~ 20m

## 施工例



■ 石川県一般県道荒木田原町線 施工延長14m (11,000 x 4,800)



■ 近畿自動車道敦賀線 高浜トンネル東工事 施工延長 138m (6200 X 3700)